

令和6年度島根大学大学院

教育学研究科入試問題（I期）

《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙2枚（表紙含む）、解答用紙2枚、下書き用紙2枚である。

指示があってから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。

受験番号

《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文

問題

中央教育審議会答申「次期教育振興基本計画について」（令和5年3月）において、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」が次期計画のコンセプトの一つとして取り上げられました。そして、そのための基本的な方針の一つとして「グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成」を定め、以下のように述べています。

「将来の予測が困難な VUCA と言われる時代の中で、個人と社会のウェルビーイングを実現していくためには、社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成が必要である。グローバル化やデジタルトランスフォーメーションは労働市場に変容をもたらしており、これからの時代の働き手に必要となる能力は変化している。AI やロボットによる代替が困難である、新しいものを創り出す創造力や、他者と協働しチームで解決するといった能力が今後一層求められることが予測され、こうした変化に教育も対応していく必要がある。」

我が国の子供たちは社会の形成に主体的に参画する意識が低いとの指摘がある中、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手」として主体性、リーダーシップ、創造力等を備えた人材を育成するために、これからの学校教育はどのような役割を果たすべきと考えますか。またそのような役割を踏まえて、具体的にどのような授業を構想していく必要があるか、あなたの考えを1000字程度で述べなさい。